

2013
2・15
毎月15日発行

月刊んぼ新聞 NPO vol.50

発行元：山形市市民活動支援センター
作成：東北応援めぐり隊・佐藤（広報ボランティア）

この情報紙は、山形市市民活動支援センターが発行する月刊紙です。センターの月毎の情報や皆さんからいただいた情報をお伝えしていきます！

市民活動支援センターカレンダー

※○は休館日、☆は、講座・イベント開催日

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

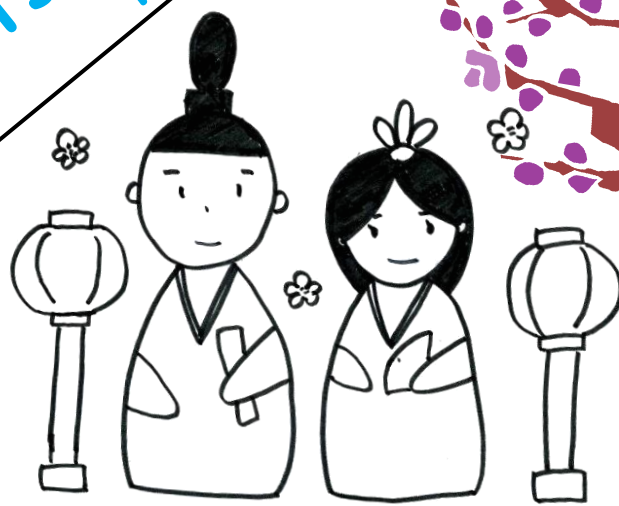
第5回やまがた市民活動まつり

ソーシャルビジネスことはじめ

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	NPO 入門講座					NPO法人のためのマネ ジメント講座（全4回）

SAVE JAPAN



イベント予定

センターからのお知らせ

ロッカー・メールボックスのお申し込みについて

この度、平成25年度のロッカー及びメールボックスのお申し込み受付を開始致します。

ご利用を希望される団体は、「申請書」にご記入の上、お手続き下さいますようお願い致します。

なお、年度途中にお申し込みをいただいた場合でも、年度末の3月31日（月）までご利用期間の期限となっております。

来年度のご利用を希望される場合には、再度お申し込みが必要となりますので、ご注意ください。

■ロッカーの募集数：(大) 36個 (中) 24個 (小) 28個
※(大)・(中)はA3サイズ、(小)A4サイズ対応。
鍵が付いているため、印刷用紙や書類の保管も可能です。

■メールボックスの募集数：66個
※A4サイズ対応。郵便物の受け取り等ができます。

■応募締切：詳しくは窓口までお問い合わせください。

※応募多数の場合は抽選となりますが、**空きがある場合は随時お申込が可能です。**
詳しくは、センターまでお問い合わせ下さい。



■申込方法：
センター窓口、またはFAX（647-2261）にて。

*詳しくは下記URLをご覧ください。
<http://www.yamagata-npo.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1236>

参加者募集中!

「NPO法人のためのマネジメント講座 —総務・労務編—」

- 日 時：2013年3月 5日（火）14時～16時（労働保険）
2013年3月12日（火）14時～16時（社会保険）
2013年3月19日（火）14時～16時（労働基準法）
2013年3月26日（火）14時～16時（労働基準法）
※4回連続の講座です。なるべく4回連続で参加下さい。

■場 所：山形市市民活動支援センター 会議室B
（霞城セントラル22階）

■費 用：無料

■内 容：労働基準法、社会保険（健康保険・厚生年金）、労働保険（労災保険・雇用保険）について学びます。

■対 象：NPOや市民活動に関わっている総務、労務の実務担当の方、代表の方

■定 員：20名程度

■申込締切：詳しくは窓口までお問い合わせください。

■申込方法：
・電話（647-2260）
・FAX（647-2261）
・Eメール（center@yamagata-npo.jp）
のいずれかでお申込みください。



*詳しくは下記URLをご覧ください。
http://www.yamagata-npo.jp/modules/piCal/index.php?action=View&event_id=0000002743

お申し込み・お問い合わせは、山形市市民活動支援センター（TEL：023-647-2260 FAX：023-647-2261）まで

山形市市民活動支援センターWEBサイト（<http://www.yamagata-npo.jp>）もご覧ください

助成金情報

やまがた社会貢献基金（山形県）テーマ希望型・一般型の助成

■募集期間：2013年2月28日（木）必着

■対象事業と助成金額

テーマ希望型：以下の6テーマの企画提案を募集します。

- ①県民共済『共に豊かな生活を』婚活と子育て応援事業（1件あたり45万円程度で2件程度）
- ②やまがたまち並みづくりサポート活動支援事業（1件あたり概ね20万円以上100万円以内で5～10件程度）
- ③“3Rの一步先へ”若者の力で被災地に夢と希望を届ける震災復興支援事業（1件あたり30万円以内で2件程度）※ただし、県内の高校・専門学校・高専・短大・大学に通学する者で構成する団体やサークルであること
- ④イオン・さくらんぼWAON子どもの健全育成支援事業（1件あたり45万円程度で2件程度）
- ⑤日産プリンス山形販売 子どもから大人まで環境にやさしい社会づくり支援事業（1件あたり45万円程度で2件程度）
- ⑥人を活かす交流まちづくり施設整備支援事業（1件あたり500万円以内で3件程度、補助率は補助対象経費の80%）

一般型：1件あたり50万円以内

- ①地域や社会の課題を踏まえてNPOが設定する「自由提案部門」（3件程度）
- ②県が提示する「県政課題部門」（9件程度）※詳細は募集要項をご覧ください。

■対象団体：県内のNPO法人、または定款や予算・決算等を整備しているなどの条件を満たすボランティア団体等で、原則1年以上県内で活動実績があるもの。
※法人格の有無は問わない。

■問合せ先：〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

山形県企画振興部県民文化課県民活動プロスポーツ支援室

TEL：023-630-2122 FAX：023-624-9908

*詳しくはこちらのURLをご覧ください。 <http://www.pref.yamagata.jp/kifu/>

2013年度（第11回）ドコモ市民活動団体への助成

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド（MCF）

■募集期間：2013年2月1日（金）～3月29日（金）必着

■助成対象：（1）日本国内に活動拠点を置く民間の非営利活動団体で法人格を有する団体。取得申請中の場合は7月末までに法人登記が完了済みであり、活動実績が2年以上であること（法人格を有する前の活動実績を含む）。また、反社会的勢力とは一切関わっていないこと。※法人格としての実績がない場合、申請書に法人格取得前の収支状況及び活動実績を記載してください。

（2）複数の団体が連携した協働事業の場合は、代表申請団体が上記（1）の要件を満たしていること。

※地域の中間支援組織を代表申請団体とする場合のみ、法人格の有無は問わない。

※任意団体の場合は、会則、規約又はそれに相当する文書を有し、適正な事業計画書、予算・決算書が整備されていること。

※過去に助成を受けた団体の再申請も可能。ただし、重点的に審査させていただきます。

■助成事業：「子どもを守る」をテーマに子どもたちの健やかな育ちを応援する以下のような活動で、2013年10月1日～2014年9月30日に実施するもの。

- （1）不登校・ひきこもりの子どもや保護者に対しての精神的・物理的な支援、復学・社会的自立支援活動（フリースクール・カウンセリングなど）
- （2）児童虐待やドメスティック・バイオレンス（DV）、性暴力などの被害児童・生徒を保護・支援する活動
- （3）非行や地域犯罪などから子どもを守るための支援活動
- （4）子どもの居場所づくり（働く親支援のための安全な保育、子どもの不安や悩みに耳を傾ける相談活動など）
- （5）発達障がい（アスペルガー症候群、LD、ADHDなど）を持つ児童の支援活動
- （6）上記（1）から（5）以外で「子どもを守る」という視点に立った活動テーマに相応しい支援活動

■助成金額：助成総額 2,500万円（上限）予定（1団体あたりの助成額は50万円を標準とし、最高200万円までの申請が可能）

※採用基準に満たない施策内容でも、団体の将来性・可能性などに特に期待が持てる申請については、標準額の半額程度を「活動奨励金」として助成する場合があります。

■問合せ先：〒100-6150 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー29F

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド（MCF）事務局

TEL：03-3509-7651（平日10：00～18：00） FAX：03-3509-7655 E-mail：info@mcfund.or.jp

*詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.mcfund.or.jp/admission/action.html>



おすすめブックナビ

『シティプロモーション

地域の魅力をつくるしごと』

著者：河井孝仁

出版：東京法令出版

地域の持続的発展のため、地域の魅力を効果的に訴えかけることで人材や物財、資金、情報などの資源の活用機会を地域内に生み出そうとする「シティプロモーション」。本書ではこの考え方をもとに地域の広報・情報戦略について全国各地の自治体の取り組みを考察しています。

地域内の人たちに自らの地域への関心や愛着を深めてもらいたい、または地域外へと魅力を発信したい、こうした思いのどちらにも応えてくれる一冊です。

（文責：須田）



センター登録団体の

つなぐコラム vol.50

今回のコラムは…

「日本野鳥の会やまがた」

事務局 國井良幾さん

空を飛べる鳥に人は憧れる。しかし、鳥は毎日が命がけなので、やはり人に生まれてよかったと思うでしょう。「スズメの平均寿命は1年とちょっと」と聞けば、命の原則や生き残ることの意味を感じ、「親スズメはヒナに1日300回も虫を運ぶ」と聞けば、虫の増えすぎは小鳥が抑えていると改めて認識させられる。東南アジアなどから渡ってくる夏鳥たち、シベリアなどから渡ってくる冬鳥たちなど、地球規模の視点を与えてくれる渡り鳥たち。環境とは、1人の人間にとって身近な野鳥や自分たちの住む地域であり、地球とはそのような環境の集まりのように思います。しかし、現在社会においては地球の温暖化、原子力発電問題など、多くの問題があります。

もう一度、自然を知るところから始めることが必要なのかもしれません。自然のバロメーターであり、いつでもどこでも出会うことのできる野鳥をきっかけとして、1人でも多くの方に自分の地域の自然とふれあい、自然について知って頂きたいと思います。このような思いを共有しながら、日本野鳥の会やまがたは、野鳥観察会や自然保護活動を行っております。初心者の方向けの野鳥の観察の仕方や野鳥の見分け方などの学習会の開催、野鳥図鑑、探鳥地ガイドの発行等もしております。探鳥会は県内4ブロックで開催しておりますので詳しい案内は当会のホームページをご覧ください。

「日本野鳥の会やまがた」HP <http://www.wbsj.yamagataken.org/>

山形市市民活動支援センター

■開館時間 9：30～22：00（23階の展示コーナー・学習コーナーは18：00までの開館となっております）■休館日 月曜、祝日（月曜が祝日の場合翌日も）、年末年始

■所在地 〒990-8580 山形市城南町1丁目1-1 霞城セントラル22階・23階

■TEL 023-647-2260 ■FAX 023-647-2261

■ホームページ <http://www.yamagata-npo.jp/> ■ブログ <http://blog.yamagata-npo.jp/center/>

■E-mail center@yamagata-npo.jp

★霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。

（印刷と相談の方は1団体2名、2時間までの駐車券の補助があります。）

メールマガジン発刊中！

配信希望の方は、

kanri@yamagata-npo.jp

まで、ご連絡ください！